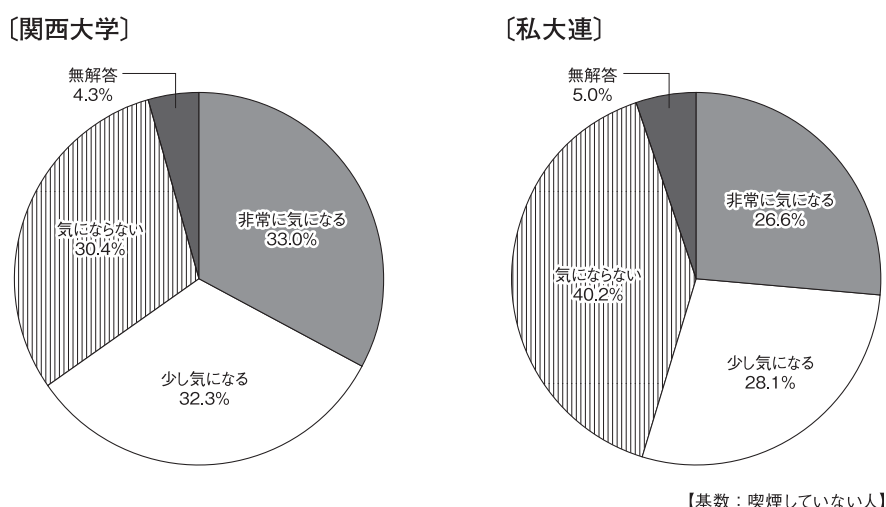


受動喫煙について

Q30

Q29で「1 現在、喫煙していない」と答えた方にうかがいます。キャンパス内での受動喫煙が気になりますか。一つだけ選んでください。



喫煙しない学生の多くが受動喫煙が「気になる」と回答

今回の調査では、Q29（喫煙について）で「現在、喫煙していない」と回答した学生の内、受動喫煙が「非常に気になる」と答えた人の割合が33.0%となり、「少し気になる」と回答した学生と合すると65.3%の学生がキャンパス内での受動喫煙を気にしていることが分かった。これは、全国平均を10.6ポイント上回っており、本学学生が受動喫煙に対して非常に高い関心を持っていることを示す結果となった。

昨今、受動喫煙は社会問題となっており、本学でも、平成23年10月から、大学の敷地や施設内においては指定喫煙場所以外を全面禁煙とする「完全分煙化」を実施している。そして、平成28年には既存の喫煙所も撤去し、「全面禁煙」を実施することを目標としている。こうした社会的背景と本学の取り組みが、多くの学生の受動喫煙に対する意識に結びついているものと考えられる。

今後も引き続き、教育機関としての社会への責任を果たし、学生の健康を守るため、受動喫煙防止に向けた取り組みを継続していくべきであろう。